

特定秘密保護法の撤回を求める意見書案を賛成少数で否決！

さまざまな報道で取り上げられた「特定秘密保護法」について、本市議会でも議論がなされました。各討論については、次のとおり。

■賛成討論①

日本共産党と

くらしと福祉を守る会

片岡守春議員

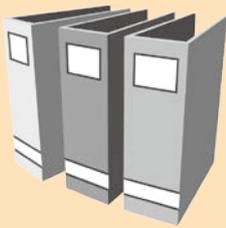
■賛成討論②

自由クラブ

矢野公昭議員

特定秘密保護法の目的

安倍政権は「特定秘密保護法」を12月6日に強行可決した。本法は、「集会・結社・表現の自由、通信の秘密」を国民に保障した憲法第21条にも抵触する。知る権利が奪われたり、表現の自由が制限されることは市民生活にとつてなよりの脅威である。また、地方公聴会の翌日に強行採決するなど、国民の声にいつさい耳を貸さない政治手法は認めめることはできない。よって、本法は法律は撤回し、憲法に沿った真摯な議論を行うべきである。



■反対討論

市民クラブ

特定秘密保護法の対象は、防衛・外交・テロ防止・スパイ防止の4分野で、極めて高い機密性のある情報漏えいを防止し、問題解決を図る上で必要な法律であると考える。また、本意見書案の問題視する点については、本法案中に回答が示されている。だが、説明が十分に国民に浸透したかについては疑問が残る。施行までに十分な説明を行う義務があり、政府もその意思を示している。これを怠った場合には見直すべきであるが、現時点での撤回は時期尚早であると考えてる。

多くの国民世論が慎重な審議を求めていることからも事実である。以上のことから、本法を撤回し、慎重審議を求める立場から意見書案に賛成する。

考える。

意見書案4件を可決し提出しました！

移住促進を図るため、線引きの一部見直し並びに市街化調整区域内の規制緩和を求める意見書

現在の香美市土佐山田町は、昭和45年に市街化調整区域と市街化区域に線引きを行いました。以降、約43年の年月が経過しており、線引きの規制が現実には合わない面が出てきているのではないのでしょうか。確かに43年前はライフラインも十分ではなく、宅地造成の乱開発も考えられたかもしれませんが、現在はそのような乱開発は考えられません。しかしながら、すべての市街化調整区域を撤廃することには課題も多く、その一部見直しを要望するものです。

現在、県は移住促進を図るため様々なプロジェクトを企画していますが、本市においても人口増加による街の活性化を図るための施策を検討しています。しかし、県内外からの移住者を招致するにあたり、市街化調整区域内の空き家の利用及び建築制限等が移住促進を進める際の障壁となっています。

市街化調整区域内において一度空き家となった場合は、都市計画法及び高知県都市計画施行条例等により、以後活用することが困難となり、地域活性化に支障をきたしています。津波による被害がないと想定されている本市へ移住を希望する県民の受け入れに関しても、同様の規定により空き家が利用できません。

また、市街化調整区域内での住宅購入・建築に際しては、都市計画法上の線引き前宅地等に該当する場合のみ可能となりますが、手続きや費用が大きな負担となります。さらに、市街化調整区域内に居住する市民が、購入・建築を希望しても資産(持家)がある場合は受付できないことも大きな支障となっています。

よって、県におかれては、移住促進を図ることにより過疎化を防止し地域を活性化させるため、また、津波浸水予測地域の県民の受け入れのために強く要望いたします。

第13号 重要5品目の聖域すら守れないTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉参加から撤退することを求める意見書 提出者 産業建設常任委員長



第13号 16号を全員賛成にて可決しました。可決された意見書は、衆・参両院議長及び関係各大臣、高知県知事へ提出しました。可決された意見書は以下のとおり。

第15号 軽自動車税の引上げをしないよう求める意見書 提出者 総務常任委員長



第14号 移住促進を図るため、線引きの一部見直し並びに市街化調整区域内の規制緩和を求める意見書 提出者 定住人口増加促進特別委員長



第16号 要支援者に対する介護サービスの継続を求める意見書 提出者 教育厚生常任委員長



森のモリくん ©やなせたかし

12月定例会に提出された議案等

	番号	件名	結果
報告	第12号	住宅新築資金等貸付事業に係る和解について	-
	第13号	学校給食費滞納整理における訴えの提起について	-
	第14号	学校給食費滞納整理における訴えの提起について	-
	第15号	学校給食費滞納整理における訴えの提起について	-
	第16号	学校給食費滞納整理における和解について	-
	第17号	学校給食費滞納整理における和解について	-
	第18号	市営住宅の明渡し及び市営住宅使用料の請求に係る和解について	-
	議案	第54号	平成24年度香美市一般会計歳入歳出決算の認定について
第55号		平成24年度香美市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第56号		平成24年度香美市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第57号		平成24年度香美市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第58号		平成24年度香美市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第59号		平成24年度香美市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について	認定
第60号		平成24年度香美市介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算の認定について	認定
第61号		平成24年度香美市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）歳入歳出決算の認定について	認定
第62号		平成24年度香美市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第83号		平成25年度香美市一般会計補正予算（第3号）	可決
第84号		平成25年度香美市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
第85号		平成25年度香美市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決
第86号		平成25年度香美市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）	可決
第87号		平成25年度香美市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第2号）	可決
第88号		平成25年度香美市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
第89号		香美市一般職の職員への給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第90号		香美市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第91号		香美市ピースフルセレネの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第92号		香美市日ノ御子河川公園キャンプ場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第93号		香美市べふ峡休憩所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第94号		香美市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第95号		香美市課等の組織編成に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
第96号		消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決
第97号		香美市地域公共交通事業に関する条例の制定について	可決
第98号	市道の路線の認定について	可決	
第99号	市道の路線の廃止について	可決	
第100号	香南香美老人ホーム組合規約の変更について	可決	
第101号	平成25年度香美市一般会計補正予算（第4号）	可決	
第102号	（平成25年度周波数有効利用促進事業）消防救急デジタル無線等整備事業の請負契約の締結について	可決	
動議	第92号	消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定についてに対する修正動議	否決
意見書案	第13号	重要5品目の聖域すら守れないTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）交渉参加から撤退することを求める意見書の提出について	可決
	第14号	移住促進を図るため、線引きの一部見直し並びに市街化調整区域内の規制緩和を求める意見書の提出について	可決
	第15号	軽自動車税の引上げをしないよう求める意見書の提出について	可決
	第16号	要支援者に対する介護サービスの継続を求める意見書の提出について	可決
	第17号	特定秘密保護法の撤回を求める意見書の提出について	否決

賛否が分かれた議案等に対する各議員の賛否の状況

	議案	市民クラブ								自由クラブ				日本共産党とくらしと福祉を守る会				公明党				
		有元和哉	山崎眞幹	利根健二	爲近初男	千頭洋一	依光美代子	石川彰宏	竹内俊夫	前田泰祐	山本芳男	矢野公昭	小松紀夫	竹平豊久	島岡信彦	濱田百合子	山崎晃子	山崎龍太郎	大岸眞弓	片岡守春	織田秀幸	比与森光俊
	第91号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	-
	第92号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	-
	第96号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	-
	動議 第96号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	-
	意見書案 第17号	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	-

※「○」は賛成、「×」は反対、「-」は議長につき採決に加わらず。